

プロジェクト対象地は、伊予市中山町栗田地区で、過疎化・高齢化や林業担い手不足、更に木材価格の低迷により、森林所有者が山林離れを起こす問題に直面しています。そこで森林を適切に整備・保全し、未来に向け緑豊かな森林を残していくために、平成19年度に「輝く森林[もり]を未来へつなごう」プロジェクトを立ち上げ、大規模な団地間伐を推進し森林整備を行ってきましたが、今後一層の森林保全を進め、公益的機能を十分に発揮させるためには、今後も適正な森林施業を持続的に実施する必要があります。

そこで、間伐による森林のCO2吸収量を当制度によりクレジット化し、そのクレジットを今後の森林整備に活用することで、森林環境の保全と森林資源の活用の双方から持続可能な森林管理を展開するとともに、森林所有者の意識改革を行い、ひいては地域全体の活性化、雇用創出に貢献します。

プロジェクトの実施場所	愛媛県伊予市中山町
吸収量(予測)	年間 621 t-CO2
在庫量	0 t-CO2(24年3月時点)
クレジットの次回発行予定	平成24年7月
1t-CO2あたりの希望単価	¥15,000(予定)

プロジェクト対象地は、全体面積に占める水土保全林の割合が約7割と高く、間伐等の森林整備を実施したことによる水源涵養機能の高度発揮が期待されます。

このため、特に「水」との関連が深い企業がカーボン・オフセットするために対象地のクレジットを活用してもらうことで、企業イメージの向上に役立つものと思われます。

企業等からの資金は、一部を森林所有者へ還元するほか、団地内の作業路網の維持管理費や、次回の間伐経費にも充当し持続的な森林整備に活用する計画です。

さらに、森林所有者の同意のもと、伊予市・伊予森林組合・クレジット活用企業等が「企業の森」を設定し、研修やCSR活動の一環として従業員による森林整備活動の場としての活用も考えています。またプロジェクトの参加者である伊予市との連携の中、伊予市で行われる各種イベント等の際には、イベント内でCO2のオフセットを行うほか、協賛企業等にもオフセットに参加してもらう計画です。



■担当者連絡先: 伊予森林組合(池田)
(TEL:089-967-0019、Mail:k-ikeda@bz01.plala.or.jp)
HP:<http://aoigis.co.jp/iyo-shinrin-kumiai>